

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	21	入居者様同士の折り合いが悪かったり、状態の違い等でトラブルになり、その場の雰囲気が悪くなる時がある。また、入居者様同士の会話も少ない。	入居者様が明るく、楽しく共同生活を営めるように支援する。	<ul style="list-style-type: none"> -レクリエーション時や食卓の席順に配慮する。 -個々の能力、状態の差を常に把握して、見守りを行い、トラブルにならないようにフォローする。聞き間違いによってトラブルに発展する場合もある為、職員が仲裁に入るようにする。 -テーブルを皆で囲み、会話する時間を持つ等、入居者様同士の交流を積極的に勤める。 	6ヶ月
2	55	見守りが必要な方は、職員の目の届きやすい場所、決まった場所で過ごされている方もおられる。安全面には配慮しているものの、歩行時等に移動の妨げとなる箇所に気付かないことがある。また、職員によっては、自立した生活を支えるという意識が不足している。危険防止への取り組みが入居者様の行動の制限となったり、自身の能力を奪う事になってはいけない。	身体機能や本人の分かる能力を活かしつつ、安全且つ自立した生活が送れるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> -誘導等の介助が必要な方でも、本人が過ごしたい場所、したい事を確認する。(職員主導で誘導しない) -テーブルや椅子等の家具の位置は移動の妨げとなっていないか確認する。 -部屋の貼紙や目印を目指して移動してもらったり、声かけを工夫したりして、本人の能力を活かしていただけるようにする。(職員が先導しない) 	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。